



■ 沖縄県出身 環境情報学部 1年
アメリカで建築とデザインの
フィールドの研究を続け、
自然と繋がる家を作りたい。

Q 維持会奨学生として思うことは？

維持会奨学金をいただけたことに感謝の気持ちでいっぱいです。慶應義塾大学が提供している多くの機会とチャンスから建築とデザインのフィールドを研究して、維持会奨学生の名に恥じないように4年間全力で勉強と研究に励み、実りある大学生活を送りたいと思います。家族や友人、多くの人からのサポートをもらっているのも、その人達のためにも頑張りたいと思います。

Q 一番興味のある授業は？

デジタルデザイン基礎です。建築とデザインのフィールドに興味があります。この授業ではライノセラスという3Dモデリングプログラムを使用し、椅子、窓、ドアなどのモデルを作ります。前半の授業の目標は森アトリエを作成することでした。毎週新しいメソッドを習い、そのメソッドをプロジェクトに活用しました。後半の授業では前半に習ったメソッドを使用し、椅子のモデルを作ることを目標に決めました。自分でデザインした椅子を実際に組み立てるのはとても面白かったです。メソッドが多くて全て覚えるのは大変でしたが、最終的にプロジェクトを完成させた時は達成感とやりがいを感じる事が出来ました。

Q 慶應義塾の良いところは？

たくさんのお機、選択肢があることです。例えば、研究分野がとても広く、教育、建築、環境保全など数を上げればきりが有りません。私は建築・デザイン系の研究に励んでいますが、友人はサイバーセキュリティの研究をしています。お互い違う研究会に所属していて、研究したいテーマに没頭できる環境にいられることは素晴らしいことだと思います。

Q 今後、学生生活でチャレンジしたいことは？

学生生活の中で、数多くの機会に自ら歩み寄り、人脈を広げることにチャレンジしていきたいです。学生でいる間は大学の授業を通して学ぶことが前提ですが、大学外で様々な経験をするのも社会に出る上で非常に大事だと思っています。そのために例えば、研究会やインターンシップを通して、学生と社会で活動している建築家とデザイナーとの間に繋がりを作りたいです。話を聞いたり、意見を交わしたり、実際に一緒に作業をする事で、たくさんのおことを吸収できると考えています。その分野のプロフェッショナルと共に研究をすることによって、将来のための基盤を上げたいです。

Q 卒業後の進路、将来の夢は？

大学院に進むことを視野に入れています。アメリカで建築とデザインのフィールドの研究を続けたいと思っています。卒業後はアメリカで建築の勉強をすることを決め、その目標に向かって努力しています。ハーバード大学デザイン大学院が志望校で、将来の夢は建物をデザインすることです。周りの環境を観察しながらデザインすることに興味があり、自然と繋がる家を作りたいです。グローバルなアプローチで活動したいと思います。